



東 北 方 面

上部の幅員擴張

地方民の要望叶ひ

愈々十八尺に擴張

宮城縣桃生部飯野川町民は昨春來北上川
改修同町可動堰上部幅員擴張問題につき五
島町長を先頭にたてしばし内務省に陳情
して居たが、當局でも飯野川町民が北上川
改修工事によつてかうむる少なからざる犠
牲を是認して居るためせめて上部橋梁とし
ての機能ばかりも發揮し地方民の要望を容

認せねばならなくなつたので、いよくこ
の程從來幅員十五尺のものを十八尺に擴張
する事になつたので關係地方民は非常によ
ろこんで居る。

もとより同改修工事は最初から一少局部
の飯野川町及び附近町村民の犠牲を補償す
るのが眼目でなかつた關係上、いとゞ緊縮
豫算の切り盛りに頭を悩めてゐた場合でも
あり、この上多少の工費増額は望まぬ所
であつた、可動堰採能が上部の擴張によつて
何等影響なしとすれば飯野川町民の切望す
る幅員擴張も是認せぬ譯にゆかね立場とな
つたため、要望通り十八尺に擴張すること

北 陸 方 面

跨線橋よりも道路橋が便利

……觀光院踏切改善意見

明年上越鐵道開通と共に長岡驛は樞要な
驛となるので大改良工事が行はれ面目を一
新する事になつて居るが懸案たる觀光院踏
切の跨線橋架設問題は各方面からの運動に
鑑み其筋でも大體之を架設する意嚮で日石
油槽所にも交渉する所があつた。しかし踏
線橋は降雨又は降雪の場合に通行に不便で
あり和服ではうまく階段の通行が出来ない
その上同所は葬儀行列の通り道となつてあ
るので却て不便を來す事がなきやを憂慮さ

になつたのである、因みに可動堰工事も基
礎施設に萬全を盡したため工事未だ中途で
はあるが、地方の盛觀として全國に誇るだ
けの内容は充分に備へて居るといはれて居
る。

れて居るから驛内の改良工事を機会に一歩進んで道路橋にして貰ひたいと云ふ希望が最近擡頭して來た。

赤城橋渡初式

中蒲郡横越村二本木原榮吉氏猷納にかゝる同字村社赤城神社赤城橋の渡橋式は十五日午後二時から舉行したが參列者は伊藤村長代理難波助役木津小學校長その他十餘名にて型の如く修祓降神猷饌の行事あり氏子總代竝に山澤校長の祝辭、齋主原榮吉氏及びその家族難波助役氏子總代小學校長順に玉串を奉獻し同字高齢者秋山難波老翁を先頭に嚴かな渡初を行ひ更に神社において報告祭を執行し式後五時から原榮吉氏邸で一同直會の盛宴を張つた赤城橋は昨年十一月起工本月上旬竣工し題材は宮城産の御影石である。

八箇峠を改修し南魚中魚兩郡を繋ぐ定期自動車を計畫

地方通信

宮城縣南魚六日町から中魚川治村に通ずる縣道八ヶ峠トンネルは五六年前からトンネル口が崩壞して人馬の通行不可能となつたので殆ど廢道同然であつたが六日町及び川治村では極力縣當局に運動して一萬五千圓を投じ修繕工事に着手することとなつた六日町自動車會社では工事完成の上は南魚と中魚に通ずる定期自動車を運轉すべく運動中である。

東 海 方 面

縣道路線變更認定

内務省は愛知縣申請にかゝる府縣道路線の認定竝に變更につき左の如く認可竝に不可の指令を發した。

- △左記路線の府縣道認定を變更す
- 一 岩作鳴海線
 - 一 小折一宮線
 - 一 猿投駄知線
 - 一 三井清洲線
 - 一 須美福岡線
 - 一 六連田原線

- 一 布土西浦線
- 一 野田赤羽根線
- 一 堀切中山線

△左記路線の認定は認可し難し

- 一 高藏寺多治見線
- 一 小牧庄内線
- 一 小松寺勝川停車場線
- 一 大高半田線
- 一 前飛保、淺井線
- 一 中久保廣石線
- 一 宮迫西尾線
- 一 福岡、飯線
- 一 川向舉母線
- 一 大野八名線
- 一 久保舉母線
- 一 江間、赤羽線

△左記路線變更は認可し難し

- 一 半田岡田間
- 一 下牛田高藏寺停車場線
- 一 中一色名古屋線
- 一 下篠平多治見線

三道路線を改修して

失業労働者救済の方針

名古屋市が失業救済事業として六十五萬圓を投じ完成せんとする中川運河連絡道路たる江川線西町、熱田千年町、江川線八熊町から各々中川運河に至る三線は目下道路

課で實測中であるがいよ／＼五月上旬から着工することに決したが、市はこの工事により延人員十七萬人一日六七百名の失業労働者を救済し得る目算であるからザツト市内の失業労働者を半減することができる譯である。

近畿方面

梅田難波間に二哩餘の大植樹帶廣路

「世界の大阪市」と呼ばれるやうになつた大阪市も道路にかけては外國の大都會に較べると、はづかしいほどの悪道路、その上で電車、タクシー、バス、自轉車、荷車などが縦横に入りみだれて耳觸りの悪い「都會交響樂」を奏でてゐる。通行人が歩道を歩かないから交通事故が頻發すると云はれるが、實は歩けるやうな歩道がないからだといふ方が至當である。大阪市の高速度下

鐵道起工式は去る一月二十九日花々しく舉行されたが、この大計畫が實現すると共に始めて大都市にふさはしい理想的の道路ができあがる。大阪驛前から難波驛前へ至る二哩の大幹線道路は二十四間幅、中央は七間幅の高速車道で、その兩側には二間半幅の植樹帶があり、植樹帶の東西に三間幅の緩急車道がつく。兩側にある商店の前には二間幅の歩道があつて街路樹が植ゑられてゐるのは阪急前附近に見られる通りだが、市民にとつてなによりの福音は南北に走る二本の植樹帶だ。この植樹帶の左右は芝生になつて、プラタナスのやうな街路樹を四間置き位に植ゑ、その中央が一間幅の遊歩道、プラタナスは四月下旬に芽生えて、夏になると青々と繁つて涼しい樹蔭をつくる。

商店の用のない人はプラタナスの並木を縫ふて交通事故の危険から免れて散歩を樂むことができ家族連れの陸じい散歩も享樂できやう昭和七年頃の二哩にわたる植樹帶の

遊歩道が完成したらウイーンのリングストラーゼやベルリンのウンテルデンリンデンを彷彿せしめるだらう。

兵庫道路共進會表彰式

參加團體五百九、人員二十六萬五千五百十三人、延人員六十五萬二千人に上つた本縣の昭和四年度道路共進會に對する褒賞授與式は四月十五日午前十一時から縣會議事堂に舉行された。

縣下各郡の道路愛護團體代表者並に來賓岩佐縣會議長、立川同副議長、杉本町村長會長等百餘名列席、上田道路課長の舉式の辭に次で褒賞授與式に入り一等、二等の各團體代表者、三等、四等及び五等の各總代に對し高橋知事より夫々賞狀及び賞金を授與し、篤行者四名の表彰少年團學校兒童の表彰があつて、三十年以上勤續修路工夫、小畑善兵衛(豐岡出張所詰)谷口喜八(柏原出張所詰)の二名に對し道路改良會表彰狀

の傳達を行ひ知事の式辭、岩佐、杉本氏等
來賓の祝辭あり次で

受賞者總代三宅有馬郡高平村々
長答辭を述べて閉會、別室に於て
一同午餐を俱にし、午後一時散會
したが表彰せられた者左の如し。

兵庫縣揖保郡神部村正條

故石木治郎吉

生前多年に互り道路橋梁の修理
改善に努め其實績推獎するに足る
ものあり仍て金五十圓を追贈し之
を表彰す

津名郡大町村木曾上組

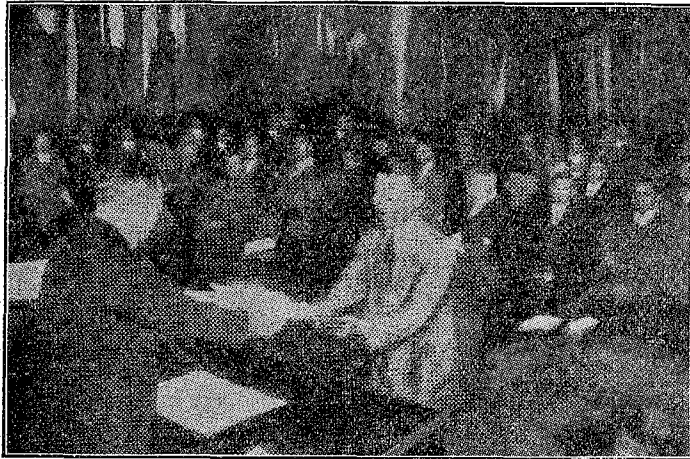
谷岡忠三郎

壯年の頃より卒先して道路橋梁
の修理改良に努め其實績推獎する
に足るものあり仍て茲に金五十圓
を授與し之を賞す

赤穂郡鹽屋村大津 藤田松太郎

十數年の久しきに互り道路の修理に力を

致し推獎するに足るものあり仍て茲に金五



高橋兵庫縣知事の道路功勞者表彰傳達式

多紀郡南河内村高屋 荻野 善助
二十數年の久しきに互り道路の除雪に力
を致し兒童等通學の便を得しめたり其行爲
推獎するに足る仍て茲に金參拾圓を授與し
之を表彰す

朝來郡生野町上生野 竹村萬右衛門
夙に地方道路の維持修理に志し率先愛護
作業に力むること久し殊に同部落所屬縣道
生野佐治線は常に破損多きを部落村民と共に
克く之が維持に盡し其實績推獎するに足
る仍て金一封を授與し之を表彰す

加古郡加古新村字三四軒屋 藤原長衛兵
夙に部落内道路の改善に志し克く關係者
の勞力奉仕用地提供に努め部落民一致協力
之が完成を圖り終に車馬通行に便ならしむ
其實績推獎に足る仍て金一封を授與し之を
表彰す

加西郡下里村野田 兼松 仲藏
部落内道路の維持修繕は自己の責任とし
常に路面の排水修理清掃に努め十數年一日

道路損傷の負擔金問題

の如く渝ることなし其篤行推獎するに足る
仍て金一封を授與し之を表彰す

多可郡比延庄村奥畑

森 天成

朝來郡山口村新井

朝日頼之助

氷上郡美和村乙河内

谷垣仁喜藏

有馬郡大澤村中大澤

石井 員一

加古郡加古川町寺家町

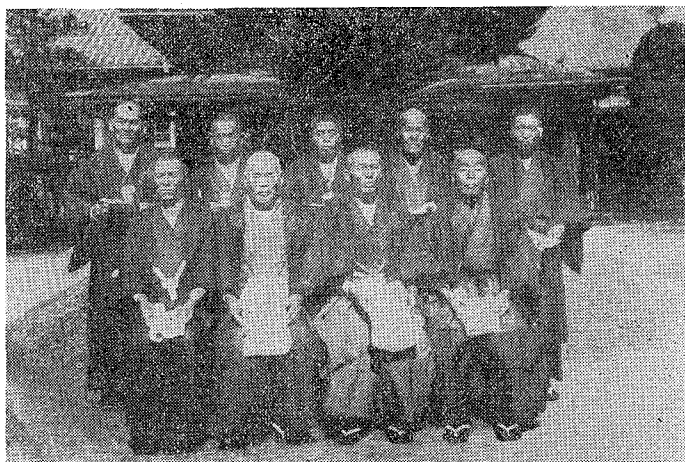
佐藤嘉一郎

三原郡神代村神稻富田組

堤 頑藏

常に道路の修理愛護に力を致し
其の實績推獎するに足る仍て茲に
金一封を授與し之を表彰す

中國方面



石田宮崎縣知事より表彰されたる道路功勞者

廣島縣の道路損傷負擔金徵收認可及河川

法準用認定申請促進に就ては
河川法準用河川は申請通り認定されたが
道路損傷負擔金の徵收は尙ほ相當の曲折あ
るものと見られる認可されれば土木出張所
に於て負擔金額を決定し徵收は市町村に委
托する事となる豫定である。

重要町村道を縣道に編入土
木課で目下嚴選中

山口縣の縣道は大正十二年中川知事が一
千二百萬圓の國縣道改良計畫を立てる際、
これを整理し市町村道並びに郡道にして縣道
に編入すべきものは、これを編入し從來の
縣道にしてその資格なきものは町村道に引
下げ整理したが更に大正十五年郡制度廢止の
時に郡道全部を縣道に編入方を町村から要
望あり猛烈なる運動があつたが當時の内務
部長坪井勸吉氏が嚴格なる調査をなしてこ
れを整理し郡道中その縣道たる資格ありと
認めたるものは縣道に編入しその他は大部

分市町村道となしたがその後鐵道の開通と自動車の發達とで町村の交通網に大變化を來たし、現在の市町村道は縣道に編入する資格ありと認められるもの少からざるに至つたので、これ等は直に縣道に編入して地方の負擔を減じ一面交通網の普及改良をなす必要ありと認め目下縣土木課の手にて調査中であるがこれに就て小早川内務部長は語る。

町村道の整理は大正十五年以來そのまゝとなつてゐるが現在の市町村道は地方交通行政の變化によつて縣道に編入する必要あるものが少くないので目下土木課の手で調査をさせてゐるがその結果縣道に編入する資格あるものは事情の許す限りこれを縣道に編入する考へであるが縣財政の關係上縣道に入れても直ちに縣道としての改良工事を行ふことは困難であるが差當りその前提として名義だけでも縣道に編入して置いて徐ろに財政の許す範

圍内で部分的の改修を行ひたいと思ふ。

九州方面

勝山大阪町間鋪裝工

小倉勝山橋から同市大阪町河北電氣に到る縣道の鋪裝工事は、縣の支出金と關係者の寄附金が纏まらなかつたが、地元負擔金三千三百六十圓を一時市で立替ることに決したので、愈々近日工事を始めることとなつた。

不知火町の鋪裝工

大牟田驛前より不知火町二丁目三叉路間延長百四十五間の道路鋪裝計畫に就ては、既に地元の負擔金も略纏まり、地元からは梅雨期前完了する様工事を急ぐ様要求してゐるが、最近雨量も多く結局梅雨後となる見込である。尙今回の鋪裝は簡易鋪裝で、五月橋驛前間の鋪裝工費に比すれば約半分

で、地元負擔も非常に軽減されてゐる。

豆津橋と太平橋

福岡縣定例參事會は、四月十五日午後一時より縣參事會室に於て開會、附議事項全部を可決したが、橋梁架設費支出方法變更の件は佐賀福岡兩縣界の豆津橋（總工費二十二萬圓中佐賀縣支出分十一萬六千圓）大分、福岡兩縣界の太平橋（總工費十五萬七千八百九十圓大分縣支出の分五千六百六十六圓）が直營事業たるの關係上、兩縣支出の分を本縣に收め工事をする事になつた。

九州沖繩各縣土木課長會議

九州沖繩各縣土木課長會議は一時中絶の狀態となつて居たが鹿兒島縣が主催となつて來る五月十五日から二日間鹿兒島市にて開催する事に決定した。